

平成28年度藤岡多野中体連夏季柔道大会要項

- 1、期 日 平成28年7月16日(土) 8:00集合 8:30計量 9:00開会式
9:20団体戦 9:50個人戦
- 2、会 場 藤岡市民体育館柔道場
- 3、競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2014 施行の新ルール)および「少年大会申し合わせ事項」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、「県中体連柔道部申し合わせ事項」を優先する。
- 4、試合時間 3分
- 5、試合方法
 - 団体戦
 - (1) 優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導」差が2段階以上あったときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「指導」差が2段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を勝ちとする際の名称を「僅差」勝ちとする。
代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導1」以上とし、3分間で優劣が決まらない場合は、5分間のGSを行う。それでも、優劣が決まらない場合は、旗判定で決する。
 - (2) リーグ戦におけるチーム間の勝敗は、次の順により決定する。
 - (ア) 勝ち数による。
 - (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有りによる勝ち」の数による。
 - (エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。
 - (オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。
 - (3) リーグ戦の勝ちチームは、次の順により決定する。
 - (ア) 勝ち数による。
 - (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有りによる勝ち」の数による。
 - (エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。
 - (オ) (エ)において同等の場合は、代表戦により決定する。
 - 個人戦
 - (1) 各階級別にトーナメント戦を行う。
 - (2) 優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導1」以上とする。
※ 新人大会、合同練習試合等の成績、内容を考慮して、各校の顧問の相談により、シード選手等を決め組み合わせを決める。
 - (3) 3分間で優劣が決まらない場合は、5分間のGSを行う。それでも、優劣が決まらない場合は、旗判定で決する。
- 6、参加制限
 - 団体戦
 - (1) 男子は、選手5名、補員2名とする。女子は、選手3名、補員1名とする。
 - (2) 編成は体重が最も重いものを大将とし、以下順次体重順におこなう。選手が不足する場合にも同様におこない間に欠員をおいてはならない。
 - (3) 補員の充当により抜けた選手は、以後の今大会の団体戦には再び出場出来ない。
 - 男女個人戦
 - (1) 男子階級は、50 kg (50 kg以下)、55 kg (50kg超 55 kg以下)、60 kg (55 kg超 60 kg以下)、66 kg (60 kg超 66 kg以下)、73 kg (66 kg超 73 kg以下)、81 kg (73 kg超 81 kg以下)、90 kg (81 kg超 90 kg以下)、90 kg超の8階級とする。
 - (2) 女子階級は、40kg級 (40kg以下)、44kg (40 kg超 44kg以下)、48 kg (44 kg超 48 kg以下)、52 kg (48 kg超 52kg以下)、57 kg (52 kg超 57 kg以下)、63 kg (57 kg超 63 kg以下)、70 kg (63 kg超 70 kg以下)、70 kg超の8階級とする。
- 7、表彰
 - ①団体戦 1位に賞状、優勝カップ
 - ②個人戦 1位に賞状、県大会シード枠のある階級は、県大会出場者に賞状
- 8、県大会出場
 - ①団体：男子1校、女子1校
 - ②個人：男女ともに各階級1名(県大会シード枠のある階級は2名)
- 9、その他
 - ①審判は、外部審判5名と各校の顧問が行う。(団体戦の場合は、自分の学校が出ているときには、顧問と関係者は審判をしない。)
 - ②団体戦のオーダー表を開会式前に提出する。(オーダーは、体重順で行う。)
 - ③各中学校は、団体戦の試合前にオーダー用紙を本部に提出する。
 - ④各校6名(生徒)の係員(呼び出し、計時)を出す。
 - ⑤計量は開会式前に行う。
 - ⑥朝の清掃は順番で行い、帰りの清掃は男子優勝校が行う。
(春は東中→夏は北中→秋は西中の順で今回は、北中です。)

藤岡多野夏季柔道大会

平成28年7月16日(土)

場所 藤岡市民体育館柔道場

